

2015年3月5日 **第59回 国連女性の地位委員会(CSW)**で採択された**政治宣言** (抜粋)

第4回世界女性会議 20周年に寄せての「政治宣言」 E/cn.6/2015/L.1

1995年に北京で開催された第4回世界女性会議から20年となる機会に、国連が関与する様々な会議等で…ジェンダー平等と女性及び少女のエンパワーメント実現に向けて有効な努力をするという約束のもとに

1. これまでのCSWの宣言等を確認し
2. 北京宣言…女子差別撤廃条約などの関連文書が、男女平等の実現に関わりあっていることを確認し、条約等を受け入れていない国にはその検討を求め、
3. 国や地域で進捗がみられることを歓迎し…さらに 本年9月26日に予定されるジェンダー平等と女性及び女兒のエンパワーメントに関するグローバル・リーダー会議での前進を期待し
4. 第4回世界女性会議から20年が経過したが、女性及び女兒の平等とエンパワーメントを達成した国はないこと、男女の不平等が世界的に存在していること…等を認識し
5. 新たな課題が出現したことについて、われわれの政治的意思を再確認し（北京行動綱領にある）12の重大項目から残された格差の解消に取り組むことを約束し、
6. 女性・女兒に対する差別を解消する社会規範を推進し、達成された成果を基礎として、女性の積極的役割と硬券を認識し、あらゆる資源配分での格差縮小、強化された説明責任や情報や通信へのアクセスを確保するための具体的行動をとることを表明し、
7. 北京行動綱領をはじめ SDGsなどの報告書などから、北京宣言及び行動綱領の完全で効果的な実施が、重要な残された課題への対処に向けて不可欠であることを強調し、
8. 第4回世界女性会議、その他で採択された文書へのフォローアップに対する「女性の地位委員会」の責任を認識し、…男女共同参画及び女性のエンパワーメントの推進における国連組織のジェンダーの主流化への役割を再確認し、
9. ジェンダー平等に対する国連…等の役割を再確認し、さらに UN Women をはじめとする国連の組織が北京行動綱領などを、完全に、有効に、そして迅速に、世界、地域、国、地方において実施し、その見直しと評価、そして支援を継続することを要請し、

10. NGO及び女性あるいは地域に基盤を置く組織を含む市民社会による地方、国、地域及び世界に対する貢献を歓迎し、市民社会にとって安全で可能性のある環境づくりを推進することを含んだジェンダー平等と女性と少女のエンパワーメントの前進への支援の継続を保証し、
11. ジェンダー平等と女性と少女へのエンパワーメントの完全な達成には、男性と男児の十分な協力が重要であることを認識し、北京宣言及び行動綱領を、成果を上げしかも迅速に達成するために、男性及び男児が完全に役割を果たすための措置をとることを約束し、
12. ジェンダー平等及び女性と少女のエンパワーメントの達成に向けて、あらゆる関係者の協力を約束し、この目標に向けて彼らがその努力を集中することを求め、
13. 2015年及びそれ以降も、毎回の見直しに際して、具体的な成果を達成できるように、北京宣言及び行動綱領の実施を加速し十分な成果を上げるよう、全ての機会と手段を用いることを約束し、2030年までにジェンダー平等と女性のエンパワーメントを完全に実現することを目指して奮闘する。

※ 上記の訳文は宣言の趣意伝達を優先したものである。

詳細は [http://www.gender.go.jp/international/int\\_kaigi/int\\_csw/](http://www.gender.go.jp/international/int_kaigi/int_csw/)

#### 【補足解説】

2015年が、北京宣言と行動綱領の採択から20年、更には2000年に採択されたミレニアム開発目標(MDGs)の達成期限であることから、2015年の女性の地位委員会では、採択する文書にこれから15年の間に解決すべき課題がどのように盛り込まれるか注目されていた。しかもCSWとしては、通例の「合意文書=Agreed Conclusion」ではなく「政治宣言=Political Declaration」になるという。事前に公表されたドラフトには、「ジェンダー平等、女性のエンパワーメント…の実現に向けて貢献することを…約束するとあるだけだったが。3月4日にネットに流された修正コメントには【gender equality … by 2030】との書き込みがあった。

その日、NYではCSWのために集まったNGOの女性たちがブロードウエーを行進した。この時のシュプレヒコールが「2030までに男女平等の実現を」「男女平等 それは fifty-fifty」「世界の男女は 50-50」あるいは「男女平等 今すぐ実現」などだった。そして、デモ行進の終点である、ブロードウエーと42番街の交差点には仮設ステージが設けられ、CSWに関わる人々が次々に発言し、その都度集まっている人々が「フィフティフィフティ、イツ・ナウ！」と叫んでいた。そしてその翌日、CSW会議初日に上記の「政治宣言」は各国政府代表により採択された。

NGOのリーダーとUN Women（国連で女性問題を担当）のリーダーが、しっかり手を組んで可能になった「2030年までに{by 2030}…」だと思う。

平松 昌子

## 持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）について

2015年9月23日、193ヶ国の首脳が参加した第70回国連総会で2030年までに実現すべき新たな課題として17項目を盛り込んだ持続可能な開発目標 Sustainable Development Goals（SDGs）を採択した。

1. あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる
2. 飢餓を終わらせ、食糧安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する
3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
4. すべての人々への包括的、かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する
5. ジェンダー平等を達成し、全ての女性及び女兒の能力強化を行う
  - 5-1 あらゆる場所での女性及び女兒への差別を撤廃
  - 5-2 人身売買など公共・私的空間での暴力を排除
  - 5-3 若年婚、強制婚、性器切除などの有害な慣行を撤廃
  - 5-4 社会保障政策の提供と無報酬の育児・家事労働への評価
  - 5-5 政治、経済、公共の分野で意思決定に参加する機会を提供
  - 5-6 性と生殖に関する健康及び権利へのアクセスを確保
6. すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
7. すべての人々の案かかつ信頼できる時速可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する
8. 包括的かつ時速可能な経済成長及び全ての人々との完全かつ生産的な雇用と働き甲斐のある人間らしい雇用を促進する
9. 強靱なインフラ構築、包括的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る
10. 各国内及び各国間の不平等を是正する
11. 包括的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する
12. 持続可能な生産消費形態を確保する
13. 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
14. 時速可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
15. 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止回復及び生物多様性の損失を阻止する
16. 持続可能な開発のための平和で包括的な社会を促進し、全ての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包括的制度を構築する
17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する



BPW とは Business and Professional Women の略で、働く女性の利益を促進し、女性の社会的地位と職業水準の向上をはかるとともに、国内および国外の働く女性の親交と理解を深め、世界平和に寄与することを目的とした団体です。国連の経済社会理事会の諮問機関として一般協議資格をもつ NGO(非政府組織)の団体 BPW International に加盟。国内では全国に 19 のクラブとアソシエーツがあります。

---

**特定非営利活動法人日本 BPW 連合会**

〒151-00053 東京都渋谷区代々木 2-21-11 婦選会館 303

TEL:03-5304-7874 FAX:03-5304-7876 Email office@bpw-japan.jp URL <http://www.bpw-japan.jp/>